

（４）貨物状況通知サービスの提供＜３＞



2022年9月15日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. これまでのご意見等を踏まえた修正事項一覧

項番	概要	修正内容	説明ページ
1	出力情報コードの決定	下記の出力情報コードの決定 CSN11業務実施後の呼出し結果情報(CAL3020) 通知契機で送信される貨物状況通知情報(CAL3010)	2ページ 7ページ 8ページ
2	項目順の見直し	CSN業務およびCSN11業務の「貨物識別」項目と「貨物番号等」項目の順序を入れ替え、 貨物識別の入力案内文の見直し	3ページ 4ページ 7ページ
3	通知契機の見直し	「貨物単位の通知」の通知契機に搬入・搬出を追加し、対象保税地域によらず搬出入 (全量時)の度に通知を受ける事を可能とする	3ページ
4	通知先利用者IDの入力範囲拡大	通知先利用者IDに同一企業略称の利用者IDを入力可能とする 呼出し結果情報および貨物状況通知情報に最終予約登録実施者を出力する	3ページ 7ページ 8ページ
5	貨物情報照会権限者チェックの見直し	CSN業務実施時の貨物情報照会権限者チェック処理について、通知先利用者(通知先 利用者に入力が無い場合は入力者)にてチェックを行う (最終的に通知先利用者に通知情報が送信されるため、通知先利用者として照会権限 は登録時に必要なため)	5ページ 6ページ
6	貨物状況通知情報(帳票電文)の出力項目値 の見直し	貨物状況通知情報(帳票電文)の出力項目値に、過去に通知済みの予約情報も出力	8ページ
7	帳票電文からの業務リンクへの対応	パッケージソフトにおいて、帳票電文を業務画面として開けるようにし、ICG業務等各照会 業務への業務リンクを可能とする。	9ページ

項番	業務名(仮)	業務コード(仮)	業務概要
1	貨物状況通知 予約登録	CSN	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物番号またはコンテナ番号に対し、指定した契機で通知を受けるために予約する業務 ・登録、訂正、取消しが可能 ・入力項目は、「貨物番号等」「貨物識別」「通知契機」「保税地域コード」 ・通知契機は、「輸出入申告審査終了」「許可・承認」「搬入」「搬出」「保税運送承認」 ・業務実施後に、新規処理結果通知電文(*CCSN)を出力
2	貨物状況通知 予約呼出し	CSN11	<ul style="list-style-type: none"> ・入力者が予約した情報を訂正または取消しするために呼出しを行う業務 ・業務実施後に、新規業務画面電文「貨物状況通知予約呼出し結果情報(CAL3020)」を出力する。 ・呼出した画面には、予約した情報に加え、通知状況を出力する。
3	貨物状況通知	CSN01	<ul style="list-style-type: none"> ・通知予約した貨物に対し、通知契機となる業務(※後述)が実施された際に、予約登録者端末宛てに通知を行う ・通知は、新規帳票電文「貨物状況通知情報(CAL3010)」をEXZ型電文で行う。 <p>「搬入」：貨物またはコンテナの搬入時（船卸、航空輸入の突合を含む） 「搬出」：貨物またはコンテナの搬出時 「保税運送承認」：貨物の保税運送承認時 「審査終了」：輸入予備申告および輸出入本申告の区分2・3に対する審査終了時 「許可・承認」：貨物の輸入許可（BP承認、蔵入承認も含む）、 輸出許可（積戻し許可、別送品輸出許可も含む）時</p>

3. 予約登録業務の概要（修正版）

「貨物状況通知予約登録(CSN)(仮)」業務を新設し、海上貨物、コンテナ、航空貨物のいずれの通知予約も本業務で登録する。

処理区分には以下を入力

- ・スペース：登録
- ・5：訂正
- ・1：取消し

貨物情報を一意に特定するため、下記識別の入力を必須とする

- S：海上貨物管理番号（ICG業務相当）
- C：海上コンテナ番号（ICN業務相当）
- I：航空輸入AWB番号（IAW業務相当）
- E：航空輸出AWB番号（IGS業務相当）

下記通知について、保税地域毎の通知を要する場合は、保税地域コードとあわせて入力

- ・搬入
- ・搬出
- ・保税運送承認（発送地を入力）

※登録可能な保税地域コードは最大3件とする

処理区分

貨物識別* 貨物番号等*

貨物単位の通知

審査終了

許可承認

搬入

搬出

保税運送承認

保税地域単位の通知

保税地域コード1 搬入 搬出 保税運送承認

保税地域コード2 搬入 搬出 保税運送承認

保税地域コード3 搬入 搬出 保税運送承認

通知先利用者ID 通知先端末名

貨物番号等には以下を入力

- ・海上輸入／仮陸：B/L番号
- ・海上輸出／積戻：輸出管理番号
- ・海上コンテナ：コンテナ番号
- ・航空輸出入貨物：AWB番号

対象保税地域によらず、搬出入の度、保税運送承認の度に通知を受けたい場合は、貨物単位の通知予約にチェックを入れる。
保税地域を指定して通知を受けたい場合は、保税地域単位の通知予約にチェックを入れる。
貨物単位の通知、保税地域単位の通知のいずれか一方のみにチェック

通知先が入力者、入力元端末と異なる場合は、通知先利用者ID、通知先端末名を入力。
※入力がある場合は、利用者コード下3桁の一致チェック(同一企業チェック)、および、端末所有者チェックを行う

4. 予約登録業務実施時の処理結果通知情報（修正版）

CSN業務は、以下の処理結果通知「*CCSN」を返却する。
 業務実施後、処理結果通知を確認することで、通知先や訂正時に必要な端末名等を確認することが可能。

出力項目順をCSN業務入力項目順に合わせる

項番	項目名	桁数	条件	出力条件
1	出力共通項目	398	M	
2	処理結果コード	75	M	システムで判定した処理結果コードを出力
3	処理区分	1	C	
4	貨物識別	1	M	入力された貨物識別を出力
5	貨物番号等	35	M	入力された貨物番号等を出力
6	通知先利用者ID	8	M	(1) 通知先利用者IDの入力がない場合は、入力者の利用者IDを出力 (2) 通知先利用者IDの入力がある場合は、入力された通知先利用者IDを出力
7	通知先端末名	6	C	(1) 通知先端末名の入力がない場合は、入力元の送信端末名を出力 (ただし、メール処理方式の場合は、出力しない) (2) 通知先端末名の入力がある場合は、入力された通知先端末名を出力

CSN業務実施時に、以下の場合、チェック処理においてエラーとする。

①通知先利用者(通知先利用者に入力が無い場合は、入力者)が当該貨物またはコンテナに対する照会可能利用者でない。

※貨物種別毎に以下の照会業務と同等の入力者チェックを行う。

なお、予約時点で貨物情報またはコンテナ情報が登録されていない場合はエラーとする。

- ・「S：海上輸出入貨物」の場合：「貨物情報照会(ICG)」業務
- ・「C：海上コンテナ」の場合：「コンテナ情報照会(ICN)」業務
- ・「I：航空輸入貨物」の場合：「輸入貨物情報照会(IAW)」業務
- ・「E：航空輸出貨物」の場合：「輸出貨物情報照会(IGS)」業務

②通知契機を逸している。

※通知契機毎に以下のチェックを貨物情報、コンテナ情報に対して行う。

- ・搬入：入力された保税地域コードに搬入済の場合
- ・搬出：入力された保税地域コードから搬出済の場合
- ・保税運送承認：入力された保税地域コードを発送地とした保税運送申告が承認済の場合
- ・審査終了：輸出入申告等において審査終了済の場合、または未申告・未申請の場合
- ・許可・承認：輸出入申告等において許可・承認済の場合

業務実施時、**通知先利用者**(通知先利用者に入力が無い場合は、**入力者**)に対する貨物種別に応じた貨物照会業務（ICG / ICN / IAW / IGS）の**照会権限がない場合の処理結果**は、以下となる。

タイミング	結果	対処、備考
登録時	エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物番号等を確認して再入力する ・照会権限のある通知先利用者を指定して再度業務を行う
呼出し時	ワーニング	呼出しは可能であるが、後続の訂正は不可となる（取消しは可能） また、呼出し画面上、通知済日時は出力しない
訂正時	エラー	訂正は不可。通知契機時には通知不可の旨を送信する
取消し時	正常	照会権限がない場合でも、取消しは可能とする

7. 呼出し業務の概要 (修正版)

「貨物状況通知予約呼出し(CSN11)(仮)」業務を新設し、訂正、取消のための呼出しを可能とする。
CSN11業務実施後に、新規業務画面電文「貨物状況通知予約呼出し結果情報(CAL3020)」を出力する。
呼出し画面には、通知状況もあわせて出力する。

CSN11

貨物識別* S 貨物番号等* BLN0000001

通知先利用者ID 1ANACY01 通知先端末名 YNAC1Y|

貨物識別 + 貨物番号等を入力して呼出し
通知先が入力者、入力元端末と異なる場合は、
通知先利用者ID、通知先端末名を入力

既に通知が完了している場合は、通知済日時を出力
ただし、貨物情報の照会権限がない場合は、出力しない

予約登録または最後に訂正した
利用者IDを出力

CSN 貨物状況通知予約呼出し結果情報(CAL3020)

処理区分 5

貨物識別 S 貨物番号等 BLN0000001

貨物単位の通知

	通知済日時
<input type="checkbox"/> 審査終了	/ / :
<input checked="" type="checkbox"/> 許可承認	/ / :
<input type="checkbox"/> 搬入	/ / :
<input type="checkbox"/> 搬出	/ / :
<input type="checkbox"/> 保税運送承認	/ / :

保税地域単位の通知

保税地域コード		通知済日時
保税地域コード 1 1AABC	<input type="checkbox"/> 搬入	/ / :
	<input checked="" type="checkbox"/> 搬出	2025/12/02 11:30
	<input checked="" type="checkbox"/> 保税運送承認	2025/12/01 10:00
保税地域コード 2 1ADEF	<input checked="" type="checkbox"/> 搬入	2022/12/03 12:10
	<input type="checkbox"/> 搬出	/ / :
	<input type="checkbox"/> 保税運送承認	/ / :
保税地域コード 3	<input type="checkbox"/> 搬入	/ / :
	<input type="checkbox"/> 搬出	/ / :
	<input type="checkbox"/> 保税運送承認	/ / :

通知先利用者ID 1ANACA01 通知先端末名 NAC01W 最終予約登録実施者 1CNACA0A

8. 貨物状況通知イメージ (修正版)

予約登録した通知対象の業務実施を契機に、以下の通知イメージ (帳票形式) の「貨物状況通知情報(CAL3010)」をEXZ型電文にて通知する。

なお、通知契機時に通知先利用者が当該貨物またはコンテナに対する照会可能利用者でない場合は、今回通知契機欄に「X」を出力する。

下記のいずれかを出力
 C : 審査終了
 P : 許可承認
 I : 搬入
 O : 搬出
 T : 保税運送承認
 X : 通知権限エラー(通知済日時は出力しない)

以下の貨物単位の通知について、複数回の通知履歴がある場合は、最新の通知済日時を出力

- ・ 搬入
- ・ 搬出
- ・ 保税運送承認

貨物状況通知情報

貨物識別 S 貨物番号等 BLN0000001

今回通知契機 P 今回通知保税地域 今回通知処理日時 2025/12/04 10:00

貨物単位の通知

	通知済日時
<input type="checkbox"/> 審査終了	/ / :
<input checked="" type="checkbox"/> 許可承認	2025/12/04 10:00
<input type="checkbox"/> 搬入	/ / :
<input type="checkbox"/> 搬出	/ / :
<input type="checkbox"/> 保税運送承認	/ / :

保税地域単位の通知

保税地域コード	通知済日時
保税地域コード 1 1AABC	<input type="checkbox"/> 搬入 / / : <input checked="" type="checkbox"/> 搬出 2025/12/02 11:30 <input checked="" type="checkbox"/> 保税運送承認 2025/12/01 10:00
保税地域コード 2 1ADEF	<input checked="" type="checkbox"/> 搬入 2025/12/03 12:10 <input type="checkbox"/> 搬出 / / : <input type="checkbox"/> 保税運送承認 / / :
保税地域コード 3	<input type="checkbox"/> 搬入 / / : <input type="checkbox"/> 搬出 / / : <input type="checkbox"/> 保税運送承認 / / :

通知先利用者ID 1ANACA01 通知先端末名 NAC01W 最終予約登録実施者 1CNACA0A

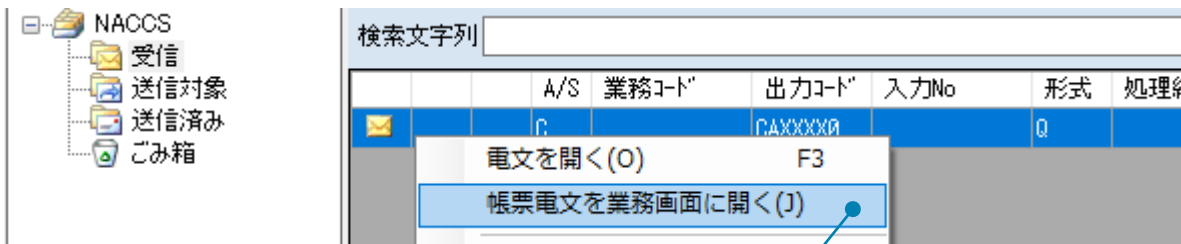
通知契機が以下の場合に出力
 I : 搬入
 O : 搬出
 T : 保税運送承認(発送地を出力)

通知済の予約情報がある場合は、通知済日時を出力

予約登録または最後に訂正した利用者IDを出力

帳票電文から業務リンク機能を利用できるよう、業務画面での展開を可能とする。

① 帳票電文を業務画面として展開



受信した貨物状況通知情報を受信ボックス上で右クリックし、「帳票電文を業務画面に開く」機能を選択することで画面展開が可能

「貨物状況通知情報」は帳票電文となるが、画面も提供する。業務リンク機能を利用することで、既存照会業務に遷移することが可能。

② 展開した業務画面上で、右クリックより業務リンクへ遷移

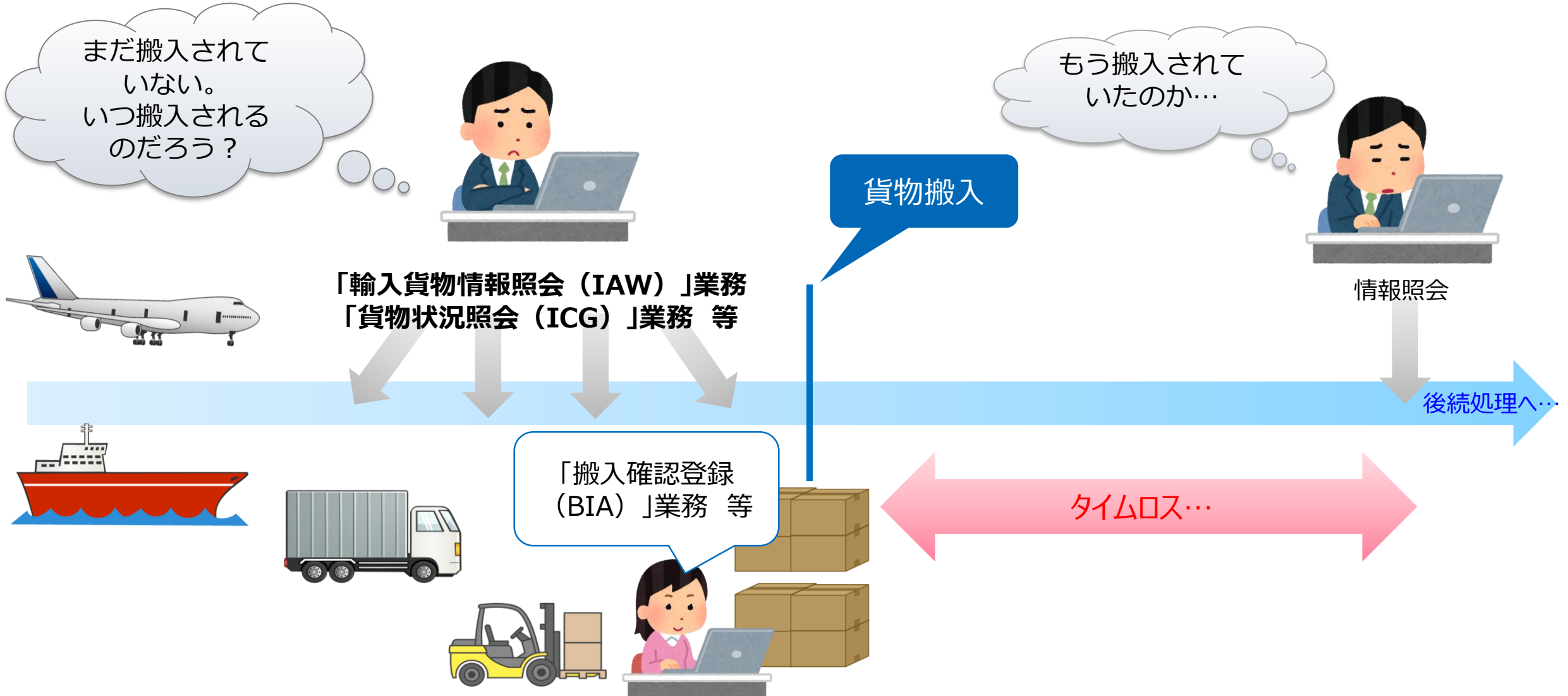


更改時リリースを目指した開発期間の確保、開発費用抑制を優先し、下記の要望については、更改時では対応を見送らせて頂きます。

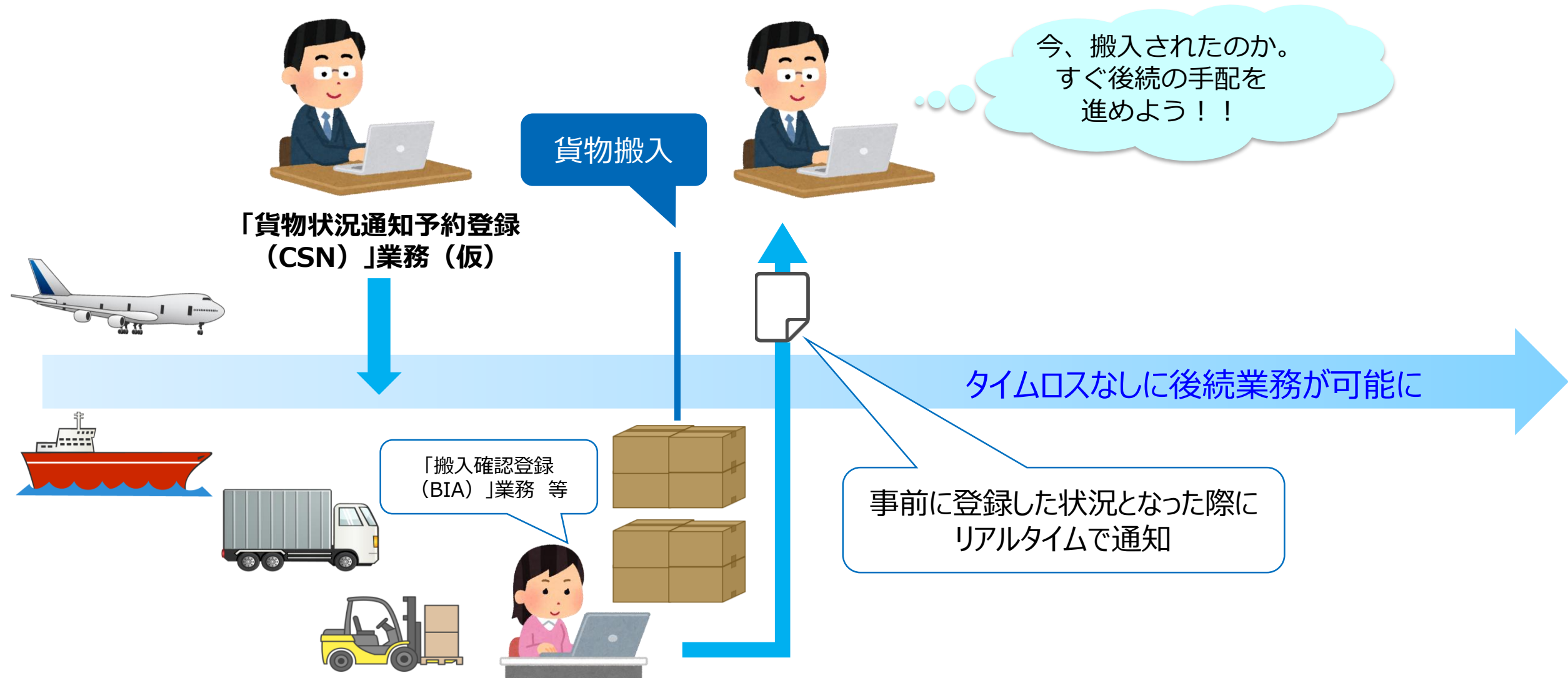
項番	要望内容
1	通知契機の追加要望 ・積荷目録情報登録(MFR)業務登録時 ・輸入貨物情報訂正(SAI)業務での記号番号変更時 ・輸入貨物荷渡情報登録(DOR)業務登録時 ・出港前報告訂正(ハウスB/L)(CHR)業務登録時 ・フリータイム情報登録(FTR)業務登録時 ・入港日の変更時
2	予約登録時のチェック内容の変更要望 ・貨物情報等が登録されていない場合のチェックエラーを外す ・「通知契機を逸している」チェックエラーを外す
3	通知内容の追加要望 ・通知契機を逸している場合の通知日時 ・同時にICG・IAW等の各照会業務結果内容
4	予約登録方法 ・1送信で複数件の登録の可能化
5	通知先 ・Eメールアドレス宛てへのメール送信

区分	概要
1. 検討項目	貨物状況通知サービスの提供
2. 変更要望	照会業務は業務実施時点の貨物状況を把握できるメリットがあるが、貨物搬入時等の反映時点でリアルタイムに状況を照会する術がなく都度照会を実施しているため、搬入時や許可時等の貨物状況変更時に通知が来るようにして欲しい。
3. 次期仕様	通知を必要とする貨物とその通知契機を事前に登録すると、保税地域への搬入や輸出入許可などの貨物情報の更新時に、リアルタイムに登録者端末宛てに通知する業務を新設する。

照会業務は業務実施時点の貨物状況を把握できるメリットがあるが、貨物搬入時等の反映時点でリアルタイムに状況を照会する術がなく、都度照会を実施している。



通知を必要とする貨物と通知契機を事前に登録しておき、貨物搬入や輸出入許可時などの貨物情報の更新時に、リアルタイムに登録者端末宛てに通知する業務（「貨物状況通知予約登録（CSN）」業務（仮））を新設する。



通知契機の業務が実施される前の任意のタイミングで予約を行う
 ※予約情報は、通知完了の有無にかかわらず、登録した日から一定期間(期間は今後検討)で無効とする

CSN 貨物状況通知予約登録業務

貨物単位の通知

- 審査終了
- 許可承認
- 搬入
- 搬出
- 保税運送承認

保税地域単位の通知

保税地域コード1 1AABC

- 搬入
- 搬出
- 保税運送承認

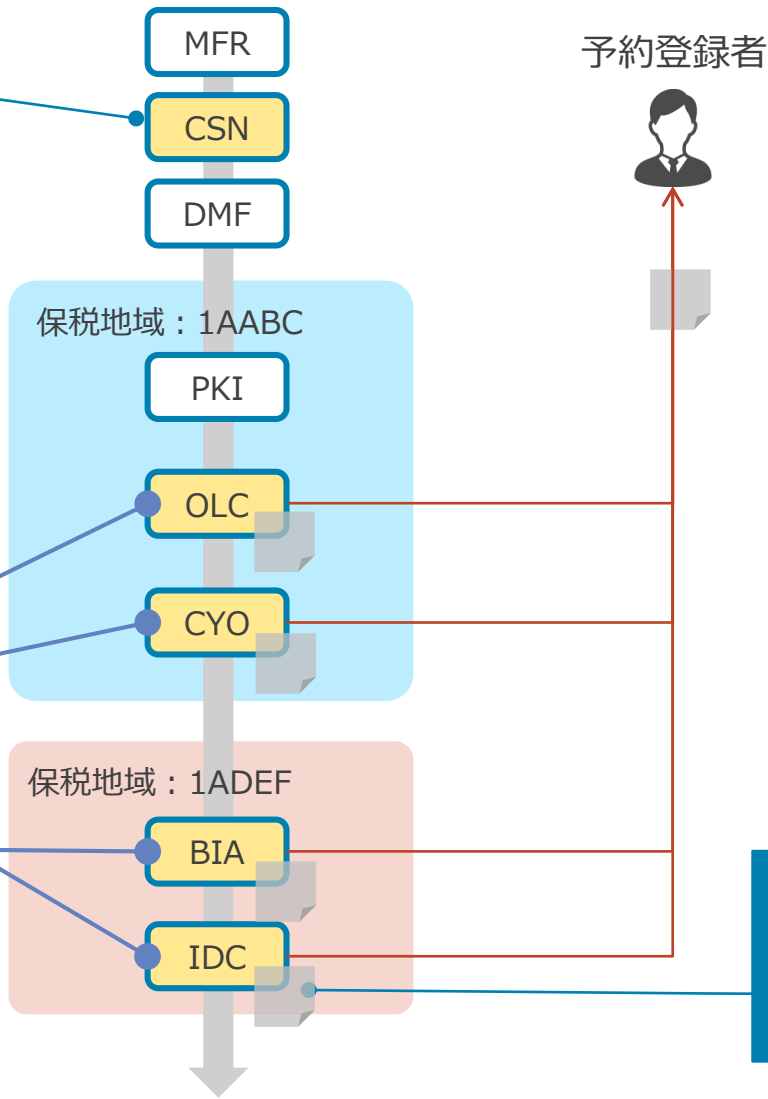
保税地域コード2 1ADEF

- 搬入
- 搬出
- 保税運送承認

保税地域コード3

- 搬入

(例) 海上輸入貨物フロー



通知契機の業務が実施されたタイミングで通知を行う

下記(次ページ含む)の通知契機業務実施時に予約登録された通知契機において、「貨物状況通知(CSN01)(仮)」業務にて通知情報を送信する。

貨物識別	通知契機	通知契機業務
航空輸入貨物	搬入	ACH、PKG、HCH01、HPK、CAI、BIN01、OIN
	搬出	OUT、GOL01、EXR01
	保税運送承認	OLT01/GOL01(CET01)
	審査終了	CEA
	許可承認	IDC/MIC(CEA/COW/PAI/RCC/GFG/MP2)、CTC(CTX)
航空輸出貨物	搬入	BIL(簡易処理時)、BIL01、BII01、RVA01、RVB01、RVM01
	搬出	EXA01、EXM01、EXU、EXR02、RVA01、RVB01、RVM01
	保税運送承認	OLT01/GOL01(CET01)
	審査終了	CEE
	許可承認	EDC/CEW/EAC/EAM01/MEC/MAF(CEE、PAE、PAK)、UEC/UAC(UCE)

貨物識別	通知契機	通知契機業務
海上輸出入貨物	搬入	輸入：PKI、PKK、BIA、CYA、CYB、CYD、CYE、BIB、CTS 輸出：BIC、BID、CYA、(CYA先行時VAN/VAE/VAA/VAH/VAD)
	搬出	輸入：BOA、CYO、BOB 輸出：BOC、VAN、VAE、VAA、VAH、VAD、CYO
	保税運送承認	輸入：OLC/OLC20(SET) 輸出（積戻し）：OLC/OLC20(SET)
	審査終了	輸入：CEA 輸出：CEE
	許可承認	輸入：IDC(CEA/COW/PAI/RCC/GFG/MP2)、CTC(CTX) 輸出：EDC/CEW/EAC/EAM01(CEE、PAE、PAK03)、UEC/UAC(UCE)
海上コンテナ	搬入	PKK、PKI、CYA、CYB、CYD、CYE
	搬出	CYO
	保税運送承認	※予約対象外
	審査終了	※予約対象外
	許可承認	※予約対象外

■ 自社システム(SMTP双方向)におけるラウンドロビン送信時の対応

予約情報は、

通知先利用者ID（8桁） + 通知先論理端末名 + 貨物番号等 + 貨物識別

単位で管理を行う。

そのため、訂正時は、登録時の端末を利用するか、登録時の端末名を入力して訂正を行う必要がある。

自社システムでラウンドロビン送信を導入している場合は、登録時と訂正時で所定の同じ端末名（下図例では「YNAC1Y」）を通知先端末名に入力することで、実際の入力端末を意識することなく訂正を行うことが可能。

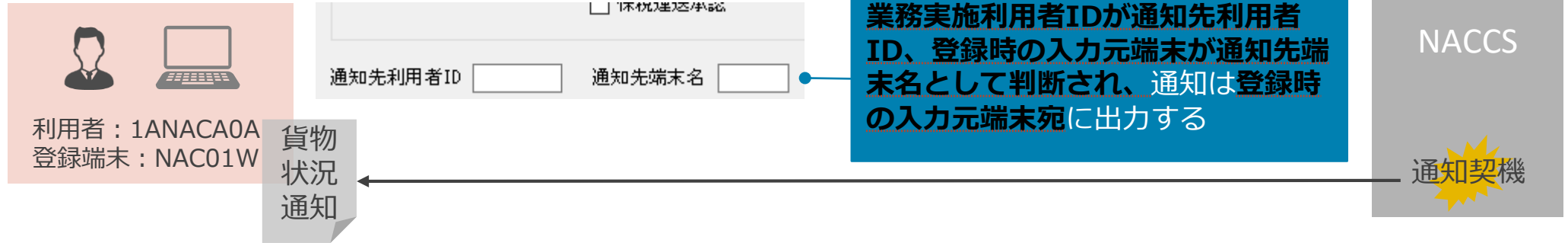
この場合、貨物状況通知は、通知先端末名（下図例では「YNAC1Y」）宛てに出力する。

※ラウンドロビン送信：システムに登録されている論理端末名順に、送信者が意識することなく自動で割り当てて送信する機能

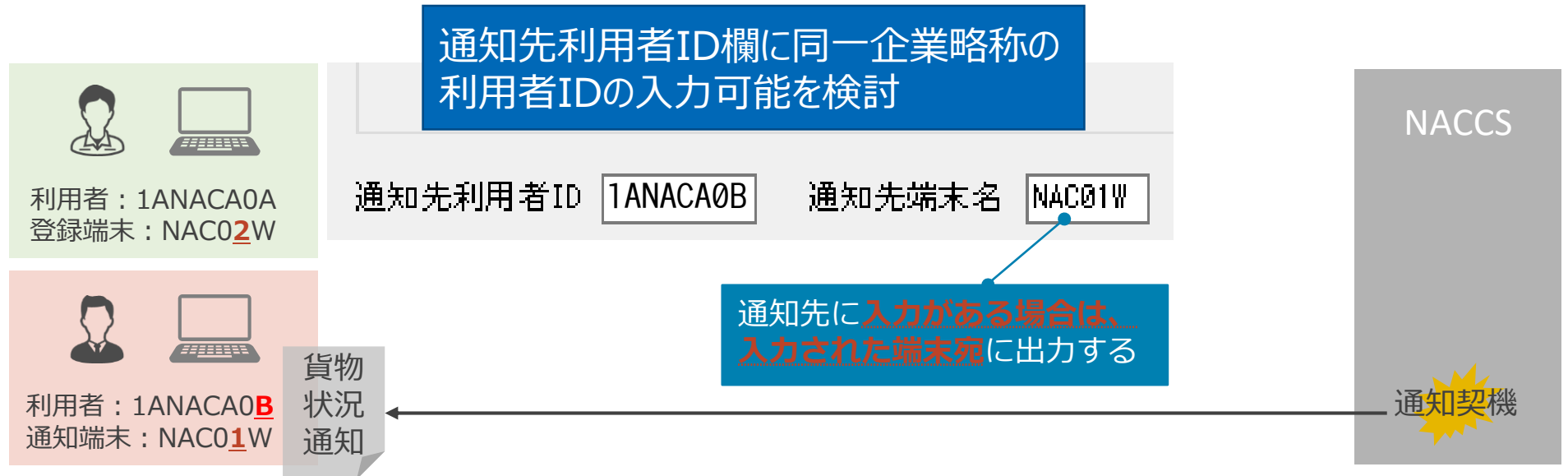


貨物状況通知は、登録時の入力元端末（メール処理方式の場合は、入力元受信用メールボックスID）にEXZ型で出力する。ただし、通知先利用者ID、通知先端末名を入力した場合は、当該端末宛に通知を行う。

通常時



予約登録端末とは別の端末へ通知したい時



予約情報は、

通知先利用者ID(8桁) + 通知先論理端末名 + 貨物番号等 + 貨物識別

の単位で登録、管理を行う。

また、**通知は、EXZ型（入力端末宛）で出力**する。

そのため、

同一利用者IDでも、異なる端末であれば、同一貨物に対して、各端末毎に予約登録および通知を受け取る事が可能

複数人が同一利用者IDを使用する場合でも、異なる端末であれば、同一貨物に対する予約が可能。通知も端末毎に受け取る事が可能。

